

生野区の取組みについて

令和6年度 生野区運営方針振り返り



令和7年度 第1回生野区区政会議



はじめに

ー生野区運営方針についてー

生野区運営方針とは

区における「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として
毎年度策定するものであり、生野区将来ビジョンに向けた
毎年度のアクションプラン（毎年度の施策・事業の取組を
明らかにするもの）となる

生野区将来ビジョン2023－2026

令和5年度
生野区
運営方針

令和6年度
生野区
運営方針

令和7年度
生野区
運営方針

令和8年度
生野区
運営方針

めざす将来像

誰もが
「居場所」と
「持ち場」の
あるまち

くらしの安全・安心部会

生野区運営方針
抜粋分

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち：防災・防犯編 (くらしの安全・安心部会)

めざすべき将来像（最終的なめざす状態：概ね10～20年間で設定）

しっかりしたセーフティネットのもと、みんながお互いに思いやり支えあい助け合えるまち

めざす成果及び戦略Ⅰ-Ⅰ

災害に備えて

めざす状態（概ね3～5年間で設定）

- ・まち全体で日頃から防災意識が高く、災害が発生しても被害を最小限に抑えられるよう防災活動が積極的に行われ、区内に住み、働き、訪れる人々が、安全にかつ安心な状況にある状態
- ・老朽住宅の自主更新の促進を地域課題とし、課題解決に向けて具体的に取り組む地域組織が多数存在し、自ら活動を担っていく人材が発掘されている状態

具体的取組

◆地域自主防災力の強化

地域防災への多様な担い手の参加促進に向け、共助による減災に向けた地域自主防災活動を支援

◆災害発生時の的確な対応

的確な災害対応を図るため、さまざまな関係機関・団体・事業所等と連携し、必要な資機材、労務・技術などの支援体制づくり

◆空き家等や老朽住宅への対策

区民からの相談に対応するとともに、空家所有者等への適切な維持管理や相続等による権利関係の重要性を周知することにより、特定空家等の是正に努める

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち：防災・防犯編 (くらしの安全・安心部会)

アウトカム(成果)指標(めざす状態を数値化した指標)	アウトカム指標の達成状況			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成状況
防災訓練や研修会等への地域の参加者数：毎年1,000人以上 *令和6年度より測定*			1,584人	○
生野区災害想定訓練実施により「地域の防災力が向上した」と回答した区職員の割合：毎年80%以上 *令和6年度より測定*			84%	○
防災の次世代を担うジュニア災害リーダー(JDL)がいる地域数：令和8年度(2026年度)末までに19地域 *令和6年度より測定*			16地域	—
特定空家等の是正件数：毎年20件以上	37件	40件	32件	○

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち：防災・防犯編 (くらしの安全・安心部会)

めざす成果及び戦略1-2

犯罪・事故の防止に向けて

めざす状態（概ね3～5年間で設定）

- ・まち全体で日頃から防災意識が高く、犯罪や事故が未然に防止されるように取り組むことで、区内に住み、働き、訪れる人々が、安全にかつ安心な状況にある状態

具体的取組

◆犯罪の防止

犯罪の起こりにくいまちづくりに向けて、地域、警察と連携した一斉パトロールや啓発活動などの取組を実施

◆事故の防止

自転車による事故が多い区域の特性を踏まえ、警察、地域団体と連携し、駅前や商店街、また出前講座での啓発活動などの取組を実施

アウトカム（成果）指標（めざす状態を数値化した指標）	アウトカム指標の達成状況			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成状況
街頭犯罪発生件数が前年件数より減（毎年）	612件	655件	638件	○
特殊詐欺件数が前年件数より減（毎年）	38件	39件	22件	○
自転車事故件数が前年件数より減（毎年）	159件	150件	151件	×

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち：地域福祉編 (くらしの安全・安心部会)

めざすべき将来像（最終的なめざす状態：概ね10～20年間で設定）

しっかりしたセーフティネットのもと、みんながお互いに思いやり支えあい助け合えるまち

めざす成果及び戦略1-3

ずっと安心して暮らせる環境づくり

めざす状態（概ね3～5年間で設定）

誰もが安心して暮らせる共生社会をめざして、地域の福祉課題について地域住民と協働し、その解決に取り組むとともに、区民一人ひとりが積極的に自らの健康づくりに努めることにより区民の健康寿命が延びている状態

具体的取組

◆すべての世代の健康づくり

自主的に自らの健康づくりの大切さを意識し、持続的な行動へとつながるよう支援や、各種検（健）診の重要性についての積極的な情報提供と受診勧奨

◆身近な見守り・支えあい

地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

アウトカム（成果）指標（めざす状態を数値化した指標）

アウトカム指標の達成状況

特定健診、各種がん検診受診率が令和8年度（2026年度）末までに大阪市平均受診率を上回り、その状態を維持する

令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成状況
・特定健診未達成 ・大腸・肺がん検診達成	・特定健診・胃がん・子宮頸がん検診未達成 ・大腸・肺・乳がん検診達成	※測定中	—

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち：地域福祉編 (くらしの安全・安心部会)

めざす成果及び戦略Ⅰ-4

ひとりも取りこぼさない支援を

めざす状態(概ね3～5年間で設定)

支援を必要とする全ての人々が、一人ひとり社会全体とつながりを持ちながら健やかに暮らせることができる状態

具体的取組

◆真に支援が必要な方への確実な対応
各関係機関が集う「総合的な支援調整の場(つながる場)」の開催や「くらしの相談窓口いくの」の運営等

◆貧困の連鎖を断ち切るための支援
民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」の実施

アウトカム(成果)指標(めざす状態を数値化した指標)

アウトカム指標の達成状況

福祉コーディネーターの当年度相談受付件数
:前年度実績以上

令和4年度

令和5年度

令和6年度

達成状況

1,764件

1,619件

×

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち：人権・多文化共生編 (くらしの安全・安心部会)

めざすべき将来像（最終的なめざす状態：概ね10～20年間で念頭に設定）

しっかりしたセーフティネットのもと、みんながお互いに思いやり支えあい助け合えるまち

めざす成果及び戦略1-5

すべての人々の人権を互いに尊重し認めあえる環境づくり

めざす状態（概ね3～5年間で念頭に設定）

区民参加・参画による人権課題の解決に向けた施策の展開により、すべての人々の人権が尊重され、日常的に地域社会の一員として暮らすことができている状態

具体的取組

- ◆人々の多様性を尊重し、認めあえる環境づくり
一人ひとりの人権が尊重され、誰もが住みやすいまちをめざし、より地域に根ざした啓発活動を地域住民と協働して実施
- ◆外国につながる住民が安心して暮らせる環境づくり
外国につながる住民の意識等調査・施策検討事業

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち:人権・多文化共生編 (くらしの安全・安心部会)

アウトカム(成果)指標(めざす状態を数値化した指標)	アウトカム指標の達成状況			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成状況
地域人権講座及び人権週間啓発事業等の参加者アンケートで「生野区は人権が尊重されていると感じる」と回答した割合:令和8年度(2026年度)末までに80%以上 *令和6年度より測定*			94.6%	—
「やさしい日本語」講座等、多文化共生関係事業の参加者アンケートで「生野区は外国につながる住民が日常的に地域社会の一員として暮らすことができるまちであると感じる」と回答した割合:令和8年度(2026年度)末までに60%以上 *令和6年度より測定*			98%	—

本日の意見交換の主なテーマ

特にご意見やアイデア等をいただきたいこと

- 防災の次世代を担うジュニア災害リーダー（JDL）育成や、
女性目線での避難所運営のための取組を行うにあたり
女性が積極的に参加いただくにはどのような方法が有効か

議事２ 区政に関する意見交換会について

■開催趣旨

未来を担う若い世代の方々に、災害に対する更なる意識をもっていただくため、自由かつ柔軟な発想や意見を聴収し、行政として施策・事業展開を検討していくことが重要であると考えており意見交換を開催するもの

■内容

開催時期：令和７年７月～８月

対象者：ジュニア災害リーダー（ＪＤＬ）